

福音書を読む (聖書人になりたい・シーズン7)

#59 不正な管理人と放蕩息子

不正な管理人と放蕩息子

ルカ福音書15:1-16:13

#59 不正な管理人と放蕩息子

不正な管理人は放蕩息子に似ている

"弟のほうか"父に、『お父さん、財産のうち私がいただく分を下さい』と言った。それで、父は財産を二人に分けてやった。それから何日もしないうちに、弟息子は、すべてのものをまとめて遠い国に旅立った。そして、そこで放蕩して、財産を湯水のように使ってしまった。" 15章12-13節

"イエスは弟子たちに対しても、次のように語られた。「ある金持ちに一人の管理人がいた。この管理人が主人の財産を無駄遣いしている、という訴えが主人にあった。」 16章1節

#59 不正な管理人と放蕩息子

筋書きが似ている

- 1 あがままな若輩を取り仕及う主人
- 2 信頼への裏切りとその結果発生した問題
- 3 主人の資産を放蕩・乱費する卑しい息子 / 不正な管理人
- 4 あがままな若輩はみずから招いたあの喪失の真実に覚醒する瞬間に到達する。(あっ、そうだ、こうしよう)

#59 不正な管理人と放蕩息子

それぞれの結末

放蕩息子：“この息子は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから。』こうして彼らは祝宴を始めた。” 15章24節

不正な管理人：“主人は、不正な管理人が賢く行動したのをほめた・・・” 16章8節

#59 不正な管理人と放蕩息子

"たとえ話"の役割

これらの「たとえ」は、聞いている人に感情移入させておいて、最後にひっくり返すジョークのようなもの。聞き手を捕らえて、予期せぬ展開で応答を呼び起こす。

ただ教えるのではなく「たとえ」によって、聞き手に行うことを要求する。

#59 不正な管理人と放蕩息子

誰に向かって話しているのか、対象は？

放蕩息子：するとパリサイ人や律法学者たちが「つぶやいて、「この人は罪人たちを迎えて一緒に食事をしている」と言った。

不正な管理人：イエスはまた、弟子たちに言われた。

#59 不正な管理人と放蕩息子

放蕩息子：自分をどの立場に置いて聞くのか

パリサイ人・律法学者たちは、

自分たちが、羊飼いの、女、寛大な父側として聞く。

#59 不正な管理人と放蕩息子

放蕩息子：話の転換

パリサイ人は、兄である！

"おまえの弟は死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから、喜び祝うのは当然ではないか。"

放蕩息子は父のあわれみにより頼んだ。

#59 不正な管理人と放蕩息子

不正な管理人：自分をどの立場に置いて聞くのか

弟子たちは、不正な管理人を取税人、

自分たちは債務者(小作人)として聞く。

#59 不正な管理人と放蕩息子

不正な管理人：主人が寝める??

"分かった、こうしよう。管理の仕事をやめさせられても、人々が私を家に迎えてくれるようにすればよいのだ。』そこで彼は、主人の債務者たちを一人ひとりに呼んで、最初の人に、『私の主人に、いくら借りがありますか』と言った。その人は『油百バテ』と答えた。すると彼は、『あなたの証文を受け取り、座ってすぐに五十と書きなさい』と言った。それから別のの人に、『あなたは、いくら借りがありますか』と言うと、その人は『小麦百コル』と答えた。彼は、『あなたの証文を受け取り、八十と書きなさい』と言った。主人は、不正な管理人が賢く行重かしたのをほめた。この世の子らは、自分と同じ時代の人々の扱いについては、光の子らよりも賢いのである。" 16章4-8節

#59 不正な管理人と放蕩息子

不正な管理人のようになれ??? : 話の転換

"あたしはあなたがたに言います。不正の富で、自分のために友をつくりなさい。そうすれば、富がなくなったとき、彼らがあなたがたを永遠の住まいに迎えてくれます。" 16章9節

#59 不正な管理人と放蕩息子

不正の富に忠実??

"ですから、あなたがたが不正の富に忠実でなければ、だれがあなたがたに、まことの富を任せるでしょうか。" 16章11節

"どんなしもべも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛することになるか、一方を重んじて他方を軽んじることになります。あなたがたは、神と富とに仕えることはできません。" 16章13節

#59 不正な管理人と放蕩息子

負債を赦された者は赦した者を愛する

「ある金貸しから、二人の人が金を借りていた。一人は五百デナリ、もう一人は五十デナリ。彼らは返すことができなかったなので、金貸しは二人とも借金を帳消しにしてやった。それでは、二人のうちのどちらが、金貸しをより多く愛するようになるでしょうか。」

「ですから、あたしはあなたに言います。この人は多くの罪を赦されています。彼女は多く愛したのですから。赦されることの少ない者は、愛することも少ないのです。」

7章41-42,47節

#59 不正な管理人と放蕩息子

貧しい者を助けて天に宝を積む

"また、ある指導者がイエスに質問した。「良い先生。何をしたら、私は永遠のいのちを受け継ぐことができるでしょうか。」" 18章18節

"イエスはこれを聞いて、彼に言われた。「まだ一つ、あなたに欠けていることがあります。あなたが持っている物をすべて売り払い、貧しい人たちに分けてやりなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになります。そのうえで、あたしに従って来なさい。」" 18章22節

#59 不正な管理人と放蕩息子

金持ちの取税人ザアカイの悔い改め

"人々はみな、これを見て、「あの人は罪人のところに行って客となった」と文句を言った。しかし、ザアカイは立ち上がり、主に言った。「主よ、ご覧ください。私は財産の半分を貧しい人たちに施します。だれかから脅し取った物があれば、四倍にして返します。」イエスは彼に言われた。「今日、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから。人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。」 19章7-10節

#59 不正な管理人と放蕩息子

小さなことに忠実なしもべ

"イエスはこう言われた。「ある身分の高い人が遠い国に行った。王位を授かって戻って来るためであった。彼はしもべを十人呼んで、彼らに十ミナを与え、『私が帰って来るまで、これで商売をきなさい』と言った。"

"主人は彼に言った。『よくやった。良いしもべだ。おまえはほんの小さなことにも忠実だったから、十の町を支配する者になりなさい。』" 19章

12-13, 17節

#59 不正な管理人と放蕩息子

罪をお赦しください。

私たちも負い目のある者をみな赦します

放蕩息子：罪人が悔い改めて帰ることを喜ぶ友

不正な管理人：負債を赦して友を作る

#59 不正な管理人と放蕩息子

主の恵みの年：あわれみ

「それからイエスはご自分が育ったナザレに行き、いつもしているとおりに安息日に会堂に入り、朗読しようとして立たれた。すると、預言者イザヤの書が手渡されたので、その巻物を開いて、こう書いてある箇所を目を留められた。

「主の霊があたしの上にある。貧しい人に良い知らせを伝えるため、主はあたしに油を注ぎ、あたしを遣わされた。捕らわれ人には解放を、目の見えない人には目の開かれることを告げ、虐げられている人を自由の身とし、主の恵みの年を告げるために。」 4章16-19節

福音書を読む (聖書人になりたい・シーズン7)

#59 不正な管理人と放蕩息子

みことばに生きる聖書人が
生まれ増えていきますように

チャンネル登録と高評価で応援お願いします